

cDNA ライブラリー, ヒト胚性腎臓細胞 293T

02-729

500 ng

本製品は、contact inhibition 状態のヒト胚性腎臓細胞 293T 由来の poly(A)⁺ RNA からリンカープライマー法 (文献 1～3) により大阪大学微生物病研究所の野島博教授が作製したプラスミド型 cDNA ライブラリーです。制限酵素 *Not* I 認識部位を有する oligo(dT)18 リンカープライマーと *Bam* H I(*Bgl* II)-*Sma* I アダプターを用いて、インサートは一方にクローニングされています。

cDNAライブラリーに使用しているベクターpAP3 *neo* はSV40プロモーターを持っているので哺乳類細胞で遺伝子発現が可能です。ssDNA合成に必要な f1 フェージのf1 ori, 大腸菌で増殖するためのpUCプラスミドOri, RNA合成に必要なT7およびT3フェージのプロモーターを含んでいます (図)。詳細はGenBank Accession No. [AB003468](#) をご参照下さい。

用途

既知の遺伝子(cDNA)のプライマーを作成して、PCR 法によってライブラリーから目的遺伝子を増幅し、適当なベクターにクローニングして、タンパク質の多量生産、プローブなどの作成に利用する。(標準条件; 10～100 ng の cDNA をテンプレートに用いて PCR で 35 サイクル増幅する。対象とする mRNA の発現量に応じてテンプレート量やサイクル数を加減する。)

容量: 500 ng (40 ng/ul, 13 ul) in 10 mM Tris-HCl-1mM EDTA (pH 7.5) **容量が少ないため製品が到着したら遠心して落として溶液を集めてください。**

品質: ライブラリーサイズ; ~220 万個の独立コロニー。インサートの長さは平均 1 kb 以上。

保存: -20°C

文献

- 1) Kobori M, Ikeda Y, Nara H, Kumegawa M, Nojima H and Kawashima H “Large scale isolation of osteoclast-specific genes by an improved method involving the preparation of a subtracted cDNA library.” *Genes Cells* **3**, 459-475 (1998) PMID: [9753427](#)
- 2) 野島 博: バイオマニュアルシリーズ 2、遺伝子ライブラリーの作製法 (野島博編)、p.79-94 羊土社、東京、1994.
- 3) 野島 博: 「日本生化学会編 基礎生化学実験法 第4巻 核酸・遺伝子実験II. 応用編」 「第2章 ライブラリーの作製とクローニング」 東京化学同人(2001) P31~P63
- 4) Sambrook, J. & Russell, DW. *Molecular Cloning* Chapter 11 “Preparation of cDNA libraries and gene identification.” CSHL Press (2001)

* 本ライブラリーは購入者が自分の研究のみに使用できます。増幅して第三者に分与することは禁止されています。

* 関連商品; 各種ヒト組織特異的及びモデル生物の cDNA ライブラリー ([HP](#) 参照)

* 各種ライブラリーよりcDNAのクローニング、タンパク質の発現系の構築、タンパク質の生産・精製な

どの受託も承ります。 info@bioacademia.co.jp にお問い合わせください。

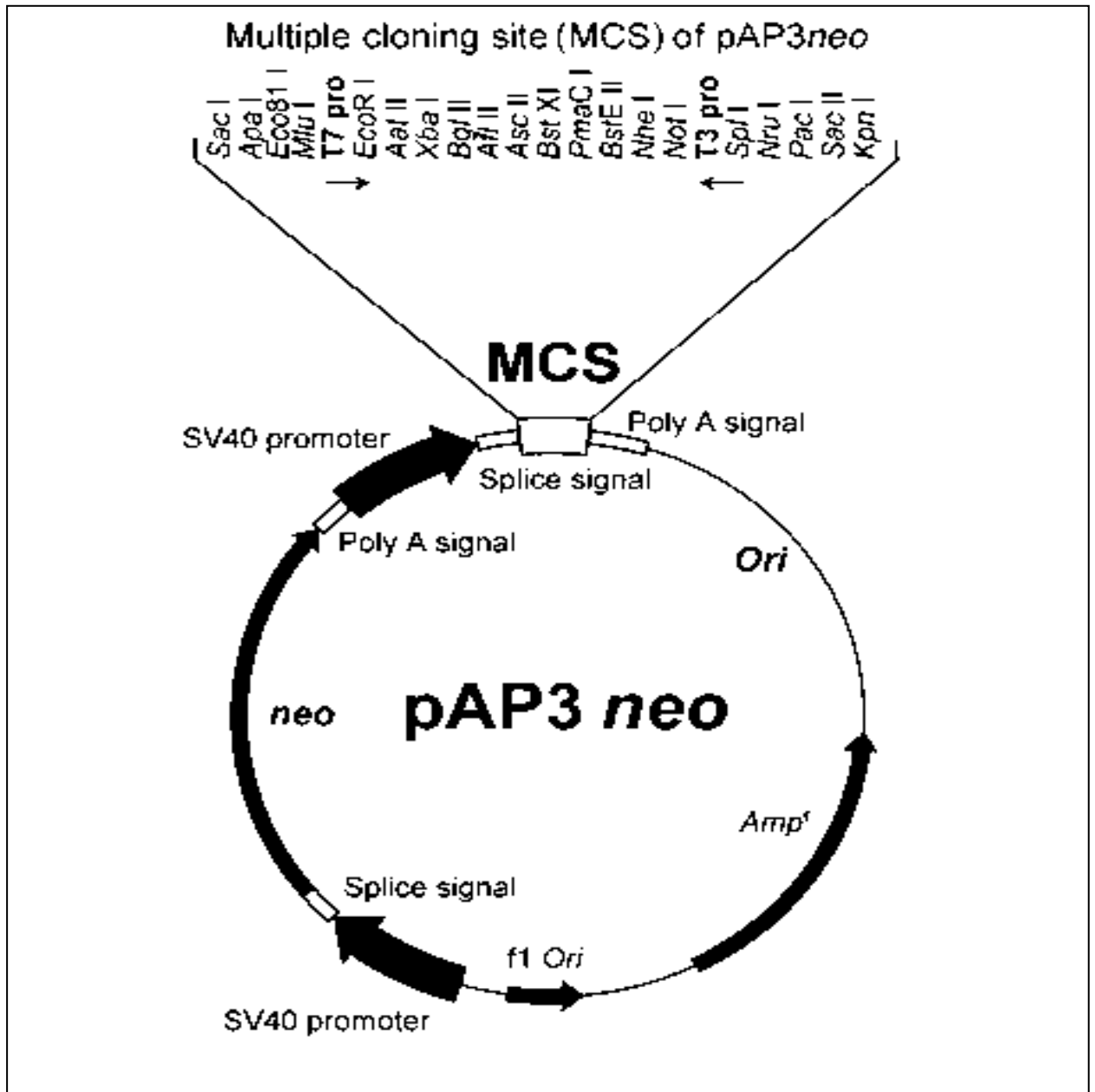


図 プラズミド pAP3 neo の構造およびクローニング部位. Ori は大腸菌でこのプラズミドが増殖するのに必要な複製起点の配列である。